

## 「一人でも多くの命を守る行動」

三重県 四日市市立西笹川中学校 2年

令和六年元旦。突然緊急地震速報が鳴り、揺れが押し寄せてきた。震源地は石川県能登半島沖。すぐにニュースをつけて、その光景に驚いた。山から土石流が勢いよく流れ、周辺の住宅が、流され埋もれてしまっていた。この土砂災害により、多くの死者が出てしまった。

夏休み、この作文を書こうと思ったときに元旦にあった悲劇を思い出した。そのとき、もし土砂災害が起きた時にどうすればいいのか、生存できる可能性を高くするには前々からどんな準備をすべきなのか。僕は気になり始め、調べることにした。

まず、自分の地域の土砂災害マップを調べた。調べてみると、住んでいる地域の周りには、危険区域はあまりなかったが、もしかしたら、その予想は外れる場合があるため、油断せず、しっかり前々から準備する必要がある大切だと思った。でも、準備ってどんな準備をすればいいのかという疑問が浮かんだ。

次に、土砂災害から命を守るためにはどんな準備が必要か調べてみた。

一つ目は、土砂災害が発生したら、電気やガスが使えなくなるかもしれないため、缶詰や、飲料水などの非常食の準備。

二つ目は、土砂災害の起因に大雨がある。そのため、避難するときに、雨が降っている可能性があるため、服や、レインコートなどの衣類の準備。

三つ目は、土砂災害が発生すると、道には土砂や、岩が落ちているため、それだけでがをしてしまうかもしれないため、消毒液や、絆創膏などの医薬品の準備。

また他には、情報を得るため、ラジオを準備したり、現金や、貯金通帳などの貴重品も準備する必要があることが分かった。準備するだけでなく、いつ土砂災害が起きててもいいように、家族みんながどこに防災バッグを置いてあるかを覚えておく必要があると思った。

そして、土砂災害が発生したら、どこに避難すればいいのかと不安になったから、避難所について調べてみた。すると、平成二十五年に「指定緊急避難場所」と「指定避難所」という二つの種類があることが分かった。二つの種類にはどんな違いがあるのか調べてみた。

「指定緊急避難場所」というのは、災害が発生したときに、「緊急」に、「一時的」に避難する場所を意味する。

「指定避難場所」というのは、災害が発生する危険性があり避難した人が、危険性がなくなるまで、一時的に滞在。または、災害により、自宅に戻れない人が滞在する施設のことを意味する。

また、災害というのは、いつ起こるか分からない。そのため、旅行中に発生する場合もある。だから、旅行先の地域の避難場所についても調べるのが大切だと思う。

最後に、土砂災害というのは、どのような原因で起こるのか、土砂災害が起こる前兆はあるのか調べてみた。

土砂災害が起こる原因は、地震や、火山の噴火などがあるが、一番多いのは、雨が降ることで地盤がゆるみ、一気に崩れ落ちることがほとんどということが分かった。また、調べていて、山なりがしたり、土の匂いがしたり、がれきにひびが入ったりなどの前兆現象があることが分かった。そのような、前兆現象を覚えておくことで、少しでも命が助かる可能性が高まると思った。

この作文を書いてみて、土砂災害についていろんなことを考えることができました。普段は、土砂災害などの自然災害について目を向けて考えたことがあまりありませんでした。しかし、この作文を書いていて、土砂災害が起こる原因や前兆現象などを知ることができました。また、自然現象というのは、いつ起こるのか分からない。だからこそ、旅行先などのハザードマップや、避難所の確認をして命を守る行動を心がけていきたいと思いました。